



もし、クスリが 効かなくなったら!?

細菌やウイルスといった小さな生物が原因となる病気を感染症といいます。 例えば、肺炎球菌やマイコプラズマという微生物は肺炎の原因となり、 大腸菌は膀胱炎の原因となります。このような感染症の原因となる微生物 のうち、細菌を退治する薬を、抗菌薬・抗生物質と呼んでいます。

最近、効くはずの抗菌薬でも退治できない細菌=薬剤耐性菌が問題となっています。薬剤耐性菌が増えると、感染症に効くはずの薬を飲んでも治りにくかったり、治らなかったりします。

現在、世界で薬剤耐性菌によって年間約70万人が死亡しています。このまま何も対策を取らなければ、2050年には約1,000万人が薬剤耐性菌によって死亡すると言われています。



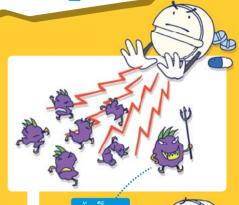
薬剤耐性菌ってなんだろう?

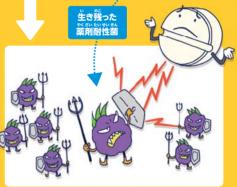
私たちの体の中には、無数の細菌が バランスをとりながら共に生きています。 この中に抗菌薬の効かない細菌がわ ずかにいることがあります。

外から細菌が入ってきて、肺炎など。 の感染症にかかってしまったとき、治療のために抗菌薬を飲みます。病気の もとになる菌と一緒に、もともと私たちの体の中に棲みついている菌も退治 されてしまい、抗菌薬が効かない菌 されてしまい、抗菌薬が効かない菌 ではずが残ることがあります。 他の菌がいなければ、その薬剤耐性菌が増えてしまうことがあるのです。

薬剤耐性菌を増やさないためには、 抗菌薬を必要な時だけ、必要な量を きっちり飲むことが大切です。

> 業剤耐性菌は 病院の中だけでなく、 街の中にも広がっていると







細菌とウイルスってどう違うの?

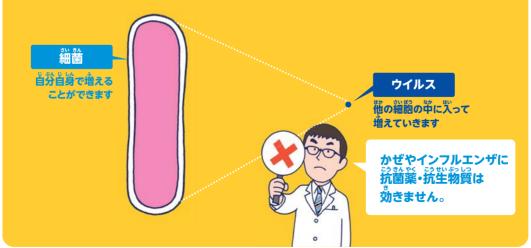
かぜの原因のほとんどは、さまざまなウイルスです。ウイルスには、抗菌 ※・抗生物質は効果がありません。なぜなら、抗菌薬・抗生物質は細菌を やっつけるために作られた薬だからです。

ウイルスと細菌は大きさが全然違います。種類によって異なりますが、細菌はウイルスの約100-1000倍程度の大きさがあります。ダンゴムシと人間くらいの違いがあります。。

それから、ウイルスと細菌は生き方も違います。細菌は自分が持っている 仕組みを利用してエネルギーを作ったり、分裂して増えます。

一方、ウイルスはほかの生物の細胞に入り込んで、そこにあるものを利用して 生きています。

このように細菌とウイルスとは大きさも生き方もまったく異なるので、 細菌をやっつけるために作られた抗菌薬は、ウイルスには効かないのです。



クスリは正しく のむことが大切!

もし抗菌薬を飲まなければならない病気になったら、お医者さんから 指示されたとおりにきちんと飲むことが、薬剤耐性菌を増やさないことに つながります。



残った薬をとっておいたり、人にあげたり、 もらったりは絶対にいけません。病気に効かないばかりでなく、前作用で下痢や発疹などが出ることもあるからです。



人も動物も環境も健康であるように

抗菌薬は人のほかに動物の医療や、農業・酪農などさまざまなところで使われています。そのため薬剤耐性菌が食品や環境を通じて人に移ってくることもあります。

人だけでなく、動物や環境もみんなが健康でいられるよう、分野を越えた 取り組みが行われています。



きちんと手を洗おう

手は見た首に汚れていなくても、 細菌やウイルスが付着している可能性があります。 石けんと水できれいに洗い流す習慣をつけることは、 だれにでもすぐにできる感染対策です。



すぐできる予防②

咳エチケットを 守ろう

マスクをつける前に手を洗いましょう。

プリーツを伸ばし針金部分を鼻の形にぴったり合わせ、 そのままあごまですっぽり隠れるように広げます。





感染症にはワクチンで予防できるものがたくさんあります。

ワクチンをうつと、体の中に抗体ができ、病原体に対して免疫ができます。

病気が体に侵入しても病気にならない、

病気になっても症状が軽くすむようになります。

ワクチンをうって病気にならなければ、人にうつすこともありません。





AMR臨床リファレン

薬剤耐性はみんなで考えなければならない問題です。 2015年、世界中の人が集まって、

みんなで薬剤耐性に取り組もうという計画ができました。

日本もこの問題に一生懸命取り組むため、

2016年に「薬剤耐性(AMR)アクションプラン」という 計画をつくりました。

AMR臨床リファレンスセンターは、

この計画を進めるため、2017年にできたセンターです。

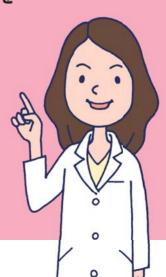
薬剤耐性についてもっと知ってもらうための情報発信や、

日本における薬剤耐性の調査や研究をしています。

みんなが将来も安心して感染症の治療を

受けられるようにがんばっています。

薬剤耐性菌をつくらない、 増やさないために何ができるか、 いっしょに考えていきましょう。



スセンターについて

薬剤耐性や抗菌薬について、もっと知ってほしいことがあります。 、は、「薬剤耐性(AMR)情報サイト」にアクセスしてください。





国立研究開発法人

国立国際医療研究センター病院 AMR臨床リファレンスセンター

〒162-8655 東京都新宿区戸山1-21-1 email:amr@hosp.ncgm.go.jp



